

森と共に生きるまち宍粟の みどりじまん新聞



Vol. 24

令和8年9月号



兵庫県立森林大学校 8期生

岡本 颯太

Okamoto

Sota

令和7年度卒業生の仲間達と一緒に
(最前列右側が岡本さん)

夢につながる就業体験

兵庫県立森林大学校では、授業の一環として、インターンシップや学外就業体験などの実践的な就業体験を行っており、早くから自分に適した職業は何か、どんな職業に就きたいかを検討することができます。

私は2年生の7月に市内波賀町に本社がある「翔真林業株式会社」で5日間の就業体験をさせていただいたので、その時のことをこの記事で紹介したいと思います。

翔真林業株式会社は、平成29年に設立され、伐木・木材搬出・森林計画作成・森林管理・チップ加工などの事業を行っています。ドローンで施業範囲の空撮をされていると聞いていたので、この会社で就業体験することを楽しみにしていました。また、社員に森林大学校の卒業生もいて、自分の成長を感じながら楽しく働ける職場だと聞いていました。

初日。現場見学のあと早速ドローンを使った空撮を体験しました。

まず、事務所でドローンに飛行範囲のデータをインプットし、現場に向かいました。現場では、ドローンが指定した範囲を自動で飛行し、写真を撮影してくれました。

事務所に戻り、撮影した写真をつなぎ合わせてオルソ化処理（画像のゆがみ等補正）を行いました。

この作業についても、いくつかの工程は自動化されていたので、実際に私がしたのはボタンを押すことくらいでした。ただ、広範囲のオルソ画像を作るには時間がかかるため、夕方に作り始めたものが次の日の朝に完成するというような具合になります。

自分が想像していた以上に、林業の現場はデジタル化や自動化が進んでおり、作業の安全性の向上や効率化が図られていると感じました。

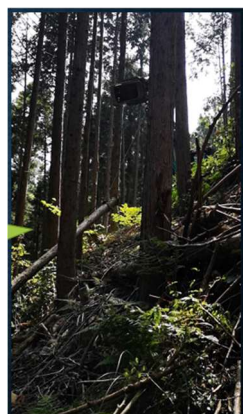


現場で活躍する
ドローン

2日目と3日目は、多可町の現場での作業を見学・体験しました。プロセッサによる造材作業を見学しましたが、単に良い木材を採るだけでなく、搬出のコストや、1本の木からいかに効率良く木材を採るかについて考えながら作業することが大切だと学びました。

また、ヒノキの間伐や集材もさせてもらいましたが、今回の現場は傾斜が急で、伐倒の際に姿勢を保つのがとても大変でした。間伐したヒノキをグラップルのウインチ引きで集材しましたが、現場は露出した岩が多く、木を引く時の落石に注意して退避場所を選ぶ必要がありました。間伐の段階で、集材作業が楽になるように考えて木を倒す必要があるということがわかりました。

現場で学んだのは、単に決まった作業をこなすのではなく、効率的な方法や次の工程のことを考えながら作業を進めることの大切さです。



集材の様子

4日目。チップパー機の見学をしました。チップパー機は木材や枝などを細かく破碎し、木質チップを作る機械のことです。翔真林業株式会社では、林地残材を再生可能なエネルギーとして活用するためにチップパー機を導入しました。自社の燃料用のチップもここで製造しています。

本来なら廃棄される木材等から木質チップを作り、木質バイオマス燃料として活用することは、カーボンニュートラルや循環型社会の構築につながる重要な取組です。



チップパー機

最終日は、フォレストワーカー研修を見学しました。この研修は、林業の新規就業者を対象に、3年間で一人前の林業作業士になるために必要な能力を身につけることを目的として行うもので、国の緑の雇用事業による研修制度です。現在、林業分野では、このように新規就業者がやりがいをもって働き続けることができるための環境整備も進められています。



フォレストワーカー研修

大切な学び、そして未来へ

翔真林業株式会社での就業体験を通じて、学内で学ぶだけではわからなかったことをたくさん知ることができました。作業のことについてはもちろんですが、社会人としての心構えも教えていただきました。

まず「何事も基礎が大事」ということ。現場ではいろいろな木の伐り方で作業をしますが、安全な伐木のためには基礎がしっかりできていることが重要です。これは現場作業だけでなく、どんな仕事にも当てはまることだと思います。

次に「現状に満足せず、常にもっと効率的な方法やコストダウンにつながる方法を考える」ことです。これも、どの仕事においても必要な考え方だと思います。

最後に「『給料は労働の対価である』という意識を持って働く」ということです。自分が毎月頂く給料に見合うだけの仕事ができているかを常に意識しながら働くことが大切で、これが働くうえでのモチベーションにもつながるということを教えてもらいました。

5日間という短い期間でしたが、本当にたくさんの大切なことを教えていただきました。この経験は、私の進路を考えるうえでもとても貴重な時間となりました。

この場をお借りして、改めて翔真林業株式会社の皆さまに感謝の気持ちを伝えたいと思います。



専修学校
兵庫県立森林大学校
Hyogo Prefectural College of Forest Management

森林経営や森林林業に関わる
人材を幅広く育成する学校
【学校見学 随時受付中】



～宍粟市は木育を推進しています～

